

句点挿入と倒置

日英MTにおける長文プリエディットの二つの手法

2019年11月19日 AAMT 2019, Tokyo

株式会社川村インターナショナル
翻訳・制作グループ 第一制作チーム
星井智

<https://www.k-intl.co.jp/>

はじめに

本発表における例文は、公益財団法人国際高等研究所の学術報告書『21世紀地球社会における科学技術のあり方』（2018）の翻訳事例より採用しております。

検証作業にはGoogle社のCloud Translation API (Premium Edition)を使用し、2019年4月～8月の間に行いました。

本発表の内容を許可なく転載・転用することは一切禁じております。

長文分割

日英方向のMT翻訳では、原文が長文の場合、それを分割することでMT出力結果の精度の向上をはかることができる。

- どのように
- どこで

分割すればよいだろうか。

長文分割 どのように

1. 句点挿入

適切な場所にまる「。」を挿入

2. 倒置

句点を含む文末部分をカット & ペーストで前方に移動

長文分割

どこで（文法的指標）

- 連用中止法／テ形
- 連体形／終止形
- 助詞

1 句点挿入

句点挿入

1

原文	訳文
その神経科学的裏付けである「なぜ錯視が起こるのか」ということに関してはほとんど何も明らかになってはいないが、現象として多くの錯視が見出されており、その幾つかは奥行き知覚や大きさの恒常性、図と地の関係などとして行動学的な説明がなされている。	Although almost nothing has become clear with regard to the neuroscientific reason “why an illusions occur”, many illusions have been found as phenomena, some of which have depth perception and size Behavioral explanations are given such as the constancy of the map and the relationship between the figure and the ground.

句点挿入

1

原文	訳文
その神経科学的裏付けである「なぜ錯視が起こるのか」ということに関してはほとんど何も明らかになってはいないが、現象として多くの錯視が見出されており、その幾つかは奥行き知覚や大きさの恒常性、図と地の関係などとして行動学的な説明がなされている。	Although almost nothing has become clear with regard to the neuroscientific reason “why an illusions occur”, many illusions have been found as phenomena, some of which have depth perception and size Behavioral explanations are given such as the constancy of the map and the relationship between the figure and the ground.

句点挿入

1

原文	訳文
その神経科学的裏付けである「なぜ錯視が起こるのか」ということに関してはほとんど何も明らかになってはいない。が、現象として多くの錯視が見出されており、その幾つかは奥行き知覚や大きさの恒常性、図と地の関係などとして行動学的な説明がなされている。	Almost nothing is clear about its neuroscience support, "Why an illusion occurs." However, many illusions have been found as phenomena, and some of them have behavioral explanations such as depth perception, size constancy, and the relationship between figures and the ground.

句点挿入

1

原文	訳文
その神経科学的裏付けである「なぜ錯視が起こるのか」ということに関してはほとんど何も明らかになってはいない。が、現象として多くの錯視が見出されており、その幾つかは奥行き知覚や大きさの恒常性、図と地の関係などとして行動学的な説明がなされている。	Almost nothing is clear about its neuroscience support, "Why an illusion occurs." However, many illusions have been found as phenomena, and some of them have behavioral explanations such as depth perception, size constancy, and the relationship between figures and the ground. 修正必要なし

2 倒置

原文	訳文
これは、これまで科学は専門的に研究する科学者のものであるという考え方や、その成果は論文という形で発表するものの、その過程で得たデータなどは科学者のものという、350年続いた考え方を大きく変えるものである。	This is the idea that science has belonged to scientists who conduct research professionally, and the results have been published in the form of papers, but the data obtained in the process has been from scientists. Is a big change in the way we think. (訳抜け：350年続いた)

原文	訳文
これは、これまで科学は専門的に研究する科学者のものであるという考え方や、その成果は論文という形で発表するものの、その過程で得たデータなどは科学者のものという、350年続いた考え方を大きく変えるものである。	This is the idea that science has belonged to scientists who conduct research professionally, and the results have been published in the form of papers, but the data obtained in the process has been from scientists. Is a big change in the way we think. (訳抜け：350年続いた)

原文	訳文
これは、これまで350年続いた考え方を大きく変えるものである。科学は専門的に研究する科学者のものであるという考え方や、その成果は論文という形で発表するものの、その過程で得たデータなどは科学者のものという、 350年続いた考え方を大きく変えるものである。	This changes the way of thinking that has lasted 350 years. The idea that science belongs to professional scientists, and the results are published in the form of papers, but the data obtained in the process is said to belong to scientists.

原文	訳文
これは、これまで350年続いた考え方を大きく変えるものである。科学は専門的に研究する科学者のものであるという考え方や、その成果は論文という形で発表するものの、その過程で得たデータなどは科学者のものという、350年続いた考え方を大きく変えるものである。	This changes the way of thinking that has lasted 350 years: the idea that science belongs to professional scientists, and the results are published in the form of papers, but the data obtained in the process is said to belong to scientists. 修正案

3 分析

～ 行われているのは文構造の軽量化 ～

軽量化 句点挿入

3

原文	訳文
その神経科学的裏付けである「なぜ錯視が起こるのか」ということに関してはほとんど何も明らかになっては いないが 、現象として多くの錯視が見出されて おり 、その幾つかは奥行き知覚や大きさの恒常性、図と地の関係などとして行動学的な説明がなされている。	Sentence A, but sentence B, and sentence C. 文に含まれる節の数を減らした Sentence A. But sentence B, and sentence C. ➔ 文の軽量化

軽量化 倒置

3

原文

これは、これまで科学は専門的に研究する科学者のものであるという考え方や、その成果は論文という形で発表するものの、その過程で得たデータなどは科学者のものという、**350年続いた考え方を大きく変えるものである。**

赤字部＝文の主旨

下線部＝「考え方」に係る部分が文章の中央を大きく占め、主部と述部の距離を大きく隔てている

述部を主部に近づけて、修飾部の説明がそれに続くようにした

➔ 修飾構造の軽量化

4 メリット

メリット

作業負荷が軽微！

句点挿入 = 1 action (まる = 「 。」を入力)

倒置 = 3 actions (選択、カット、ペースト)

+ 必要に応じた若干の修正

CATで原文を加工するだけで、新しいMT訳文が自動的に生成される

本発表の内容についてご質問等ございましたら
下記までお問い合わせください。

メール：ki_marketing@k-intl.co.jp

ウェブ：<https://www.k-intl.co.jp/inquiry>

電 話：03-3267-0270（平日 9:00 ～ 18:00）